

序

Avant-propos

17世紀フランスの戯曲を互いに読み合おうというささやかな集まりが始まったのはいつの頃だったのか。もうはるか昔に思える。

中間の書いた記録などをひっくり返してみると、今から40年も前の1970年のようである。その前年にフランス留学から帰国し、大学でフランス語を教え始めた私の研究室に、毎週土曜日に他大学大学院の二、三人の学生諸君が集まったのが最初である。次第に自分の大学の大学院学生も参加し、やがて「17世紀フランス演劇研究会」なるものが誕生し、『エイコス』（ギリシア語の「真実らしき」）という研究同人誌も、不定期ながら刊行し始めた。

ところが当時は、17世紀の戯曲、とりわけあまり知られていない作家の作品などは、必ずしも近・現代版が印刷出版されておらず、17世紀に出版された初版本だけなので、なかなか手に入らない。そこで日本文部省の科学研究費補助金を得ながら、17世紀当時の戯曲の刊本を、マイクロフィルムでフランス国立図書館から取り寄せて読み合ったこともあった。

そのうちに、ただ読み飛ばしただけではもったいない、読んだものを後学の人のためにも残しておこうという趣旨で、「梗概集」を『エイコス』誌の巻末に載せることにした。それは、論文の中に一々作品の梗概を書いて紹介する手間を省くためでもあった。いつの間にか、この梗概集の掲載が『エイコス』誌の月号にわたり、作品の数も多くなっていった。いつの日かこれをまとめられないか、などと夢のようなことを話し合ったこともあった。

本書のもとになっているのは、過去に書き溜められたそれらの梗概である。本事典は、コルネイユ、モリエール、ラシーヌという17世紀

の三大劇作家の劇作品を網羅し、ほかの劇作家の主要作品も極力集め、紹介してある。このような形で世の中に出て、関心のある方々に読み、あるいは利用していただけるのは、未だに細々と続くわが研究会一同の望外の喜びである。大いに利用し、活用していただきたいと願うばかりである。

なにしろ、17世紀フランスは「演劇の世紀」と言われるほど、三大劇作家のほかにも数多くの劇作家がその裾野に華やかに咲き誇っていた時代である。本書を通して、この世紀の演劇の魅力と広がりを感じ取っていただければ幸いである。

こうして一冊の本になるにあたっては、多くの方々のご支援、ご協力を賜った。なかんずく早稲田大学のグローバルCOE「演劇・映像の国際的教育研究拠点」(拠点リーダー竹本幹夫演劇博物館館長)の平成22年度の研究成果単行本出版経費をいただけたことに感謝申し上げたい。その援助がなければ、本書はとうてい目の目を見ることはなかったであろう。

本書の執筆は、17世紀フランス演劇研究会のメンバーが中心になっているが、今回の企画にあたり東京大学名誉教授塩川徹也氏にもご協力いただき、コラムのほかにポール＝ロワイヤル関連の原稿などについてもご意見を賜った。この場を借りてお礼を申し上げる。

研究会のメンバーで、本書の原稿を執筆していた浜野トキ氏が完成を見ることなく逝去されたことは哀悼の思いで書き添えておきたい。また仲間とはいえ、まとめ役を引き受け、遠方への就職にもかかわらず、最後まで献身的に協力を惜しまなかった冨田高嗣氏にはとくに謝意を表したい。

最後に、このような割に合わない仕事をお引き受けいただいた中央公論新社、そして編集の労をお取りいただき、細かくチェックしていただいた郡司典夫、松本佳代子、二宮隆洋の各氏には心から感謝申し上げます。

研究会を代表して 伊藤 洋

凡例

◎編集方針

フランス17世紀演劇の全体像を提示することを念頭に、重要な劇作品、劇作家に加え、当時の戯曲を読む上で必要と思われる事柄を紹介、解説した。さらに、当時の演劇・文化状況がより深く理解できるよう、豊富な話題を含む「コラム」を用意した。

◎全体について

- (1)本書は、以下の構成をとる。「総論」、「第Ⅰ部 劇作家」、「第Ⅱ部 劇作品」、「第Ⅲ部 事項」、「コラム」、「文献一覧」、「索引」、「関連年表」、「クロノロジカル・チャート」。
- (2)本文中、別項にて紹介されている劇作家、劇作品、事項などがある場合、それらの言葉をゴシック体で強調し、参照番号を付した。ただ、煩瑣を避けるため、そうした処理を見合わせた箇所もある。参照番号は、劇作家 (Auteur) : A-01、劇作品 ((Euvre) : CE-001、事項 (Repère) : R-001、コラム (Prolongement) : P-01のような形態をとる。ただ、参照番号が付された劇作品の場合、第Ⅰ部に必ず劇作家名の項目があるため、名の強調および参照番号の付加を行わなかった。また、単に当該劇作品のジャンルを示す、悲劇、喜劇、悲喜劇、田園劇、オペラ、英雄喜劇なども強調を行わなかった。それらについては事項篇に立項があるので参照されたい。そして、立項はないが、参照すべき記事がある場合、参照番号のみを付した。なお、参照すべき語が頻出する「総論」では、一切の指示を見合わせた。
- (3)人名や書名の原綴は索引を参照のこと。
- (4)固有名詞については、邦題や登場人物名はフランス語読みを基本とした(例:○クレオパートル、×クレオパトラ)。そして、流通している他国語読みを括弧内に示したものも多い(例:フェードル [バイドラ])。それ以外の場合は、原音を尊重しながら、日本語で一般的と思われる表記を採用した。

◎第Ⅰ部 劇作家

- ①選定——第Ⅱ部で梗概を紹介する劇作家60名を取り上げた(五劇作家を1名と数えた)。
- ②配列——劇作家名の五十音順になっている。*Dictionnaire des lettres françaises : Le XVII^e siècle*に記載されている表記を採用し、それに従って日本語読みを確定した。

◎第Ⅱ部 劇作品

- ①選定——ビエール・コルネイユ、モリエール、ジャン・ラシヌスの全作品と、プレイヤッド叢書、*Théâtre du XVII^e siècle* (全3巻)に掲載されている全作品を収録した。さらに、演劇史上不可欠と判断した作品を加え、計250作を取り上げた。
- ②配列——劇作家名の五十音順とし、同一作家に複数の作品がある場合、原則として初演年順に配列した。ただ、初演年が明確でない場合は、妥当と思われる場所に置いた。
- ③邦題——既訳のあるものはおおむね従ったが、解釈の違いなどから別題を付けたものもある。
- ④内容——以下の要素からなる。「幕の構成、ジャンル」、「初演年代、初演劇団」、「初版年代」、「主な出典」、「解説」、「主な登場人物」、「梗概」。ただし、出典がない、あるいは不明の場合は記していない。また、オペラ作品には、作曲者名も示した。

◎第Ⅲ部 事項

- ①選定——17世紀フランス演劇を理解する上で重要な用語、概念、人名を取り上げた。第Ⅰ部で取り上げられていない劇作家はこの部分に含まれる。
- ②配列——五十音順とした。ただし、複数の訳語や別表記が存在する場合、参照指示を設け、記事のある項目名を示した。

◎索引

- ①索引は、人名、書名、事項の三部からなる。人名、書名は、フランス語を添えた。
- ②フランス語からも引けるよう、日本語との対照表を掲載した。

目次

Table des matières

序	003
凡例	005
項目一覧	008
総論	013
第I部 劇作家	027
第II部 劇作品【劇作家別】	087
第III部 事項	555
文献一覧	733
索引	753
人名	754
書名	763
事項	781
フランス語・日本語対照表	788
別題作品名対照表	795
関連年表	796
クロノジカル・チャート	810
執筆者一覧	812

目次

01●日本におけるフランス17世紀演劇の受容	024
02●『ル・シッド』とトランプ	038
03●シェイクスピアは17世紀フランスに知られていたか	040
04●スキュデリー兄の謎	046
05●サミュエル・ジョンソンの17世紀フランス評	068
06●小説の中の劇作家たち	072
07●ピカル＝バルト論争	077
08●舞台上に上げられた動物たち	097
09●フランスにおける近年の古典劇名舞台	169
10●バスカルと演劇	256
11●マスカリールかマスカリユカ	370
12●プレシオジテについて	374
13●フィルモグラフィ	378
14●食卓作法	396
15●ヴェルサイユ宮殿に便所はなかったのか	405
16●ラシーヌの『フェードル』と『イポリット』3作	465
17●演技と朗唱	560
18●イエズス会学校演劇の上演	563
19●医学知識と演劇の狂気	567
20●役者について	574
21●世界は劇場	586
22●リュリのオーケストラ	589
23●祝祭について	607
24●コメディ＝フランセーズのレパトリー	613
25●イタリア演劇とフランス	617
26●女優というメディア	631
27●メーシス—模倣から表象へ	640
28●宮廷バレエ	669
29●文芸サロン	684
30●衣装について	690
31●興行について	700
32●貨幣価値と物価について	712
33●ラ・フォンテーヌと宮廷オペラ	715
34●文化政策と絶対王政	719
35●ルイ14世の健康家ぶり	724
36●『ル・シッド』論争に関する文書	727

項目一覧

劇作家

Auteurs dramatiques 01-60

01◎アルディ

02◎ヴィオー

03◎オートロッシュ

04◎カンピストロン

05◎キノー

06◎グジュノー

07◎クラヴレ

08◎ゲラン・ド・ブスカル

09◎コルネイユ (トマ)

10◎コルネイユ

11◎サン=テヴルモン

12◎シェランドル

13◎シャビュゾー

14◎シュヴァリエ

15◎シラノ・ド・ベルジュラック

16◎ジルベール

17◎ジレ・ド・ラ・テソスリ

18◎スカロン

19◎スキュデリー

20◎タバラン

21◎ダンクール

22◎ディスクレ

23◎デフォンテーヌ

24◎デマレ・ド・サン=ソルラン

25◎デュ・リエ

26◎デュルフェ

27◎ド・ヴィリエ

28◎ドゥーヴィル

29◎ドノー・ド・ヴィゼ

30◎トリスタン・レルミット

31◎ドリモン

32◎バラブラ/ブリュエス

33◎パロン

34◎ピシュー

35◎ビダール

36◎ファトゥヴィル

37◎ブラドン

38◎ブルソー

39◎ブレクール

40◎プロス

41◎ベス

42◎ボワイエ

43◎ボワッソ

44◎ボワロベール

45◎マレシャル

46◎メレ

47◎モリエール

48◎モンクレティアン

49◎モンフルー

50◎ラ・カルブルネード

51◎ラカン

52◎ラシーヌ

53◎ラ・ビヌリエール

54◎ラ・フォス

55◎ルニャール

56◎レトワール

57◎レルミット・ド・ソリエ

58◎ロトルー

59◎ロンジュビエール

60◎五劇作家

劇作品

Œuvres 001-250

001◎『セダーズ あるいは汚された献特』(アルディ)

002◎『アルフェ あるいは愛の神の裁き』(アルディ)

003◎『アルセ あるいは不誠実』(アルディ)

004◎『リュクレース あるいは罰せられた姦通』(アルディ)

005◎『血の力』(アルディ)

006◎『ピラムとティスベの悲劇的愛情』(ヴィオー)

007◎『喪服』(オートロッシュ)

008◎『ティラダート』(カンピストロン)

009◎『アルシード』(カンピストロン)

010◎『恋敵』(キノー)

011◎『無分別な恋人 あるいは粗忽な主人』(キノー)

012◎『アマラゾント』(キノー)

013◎『アストラート、ティール国の王』(キノー)

014◎『あだっばい母親 あるいは仲違いした恋人』(キノー)

015◎『カドミュスとエルミオース』(キノー)

016◎『アルセスト あるいはアルシードの勝利』(キノー)

017◎『テゼ』(キノー)

018◎『アティス』(キノー)

019◎『アルミード』(キノー)

020◎『役者たちの芝居』(グジュノー)

021◎『貞節な欺き』(グジュノー)

022◎『あまのじゃく』(クラヴレ)

023◎『サンシュ・パンサの政府』(ゲラン・ド・ブスカル)

024◎『偶然の約束』(コルネイユ [トマ])

025◎『今どきの恋』(コルネイユ [トマ])

026◎『ティモクラート』(コルネイユ [トマ])

027◎『ベレニス』(コルネイユ [トマ])

028◎『コモド帝の死』(コルネイユ [トマ])

029◎『ダリウス』(コルネイユ [トマ])

030◎『カンマ、ガラティアの王妃』(コルネイユ [トマ])

031◎『ベルセとデメトリウス』(コルネイユ [トマ])

032◎『アリアース』(コルネイユ [トマ])

033◎『アシールの死』(コルネイユ [トマ])

034◎『シルセ』(コルネイユ [トマ])

035◎『エセックス伯爵』(コルネイユ [トマ])

036◎『女占い師 あるいは偽の魔術』(コルネイユ [トマ])

037◎『メデ』(コルネイユ [トマ])

038◎『メリート』(コルネイユ)

039◎『クリタンドル』(コルネイユ)

040◎『未亡人』(コルネイユ)

041◎『法院の回廊』(コルネイユ)

042◎『侍女』(コルネイユ)

043◎『ロワイヤル広場』(コルネイユ)

044◎『メデ』(コルネイユ)

045◎『舞台は夢』(コルネイユ)

046◎『ル・シッド』(コルネイユ)

047◎『オラース』(コルネイユ)

048◎『シンナ』(コルネイユ)

049◎『ポリュエクト、殉教者』(コルネイユ)

050◎『ボンペーの死』(コルネイユ)

051◎『嘘つき男』(コルネイユ)

052◎『続・嘘つき男』(コルネイユ)

053◎『ロドギュニス』(コルネイユ)

054◎『テオドール、処女にして殉教者』(コルネイユ)

055◎『エラクリュス、東ローマ帝国の皇帝』(コルネイユ)

056◎『アンドロメド』(コルネイユ)

057◎『アラゴンのドン・サンシュ』(コルネイユ)

058◎『ニコメド』(コルネイユ)

059◎『ベルタリート、ランゴバルド族の王』(コルネイユ)

060◎『エディップ』(コルネイユ)

061◎『金羊毛皮』(コルネイユ)

062◎『セルトリュス』(コルネイユ)

063◎『ソフォニスブ』(コルネイユ)

064◎『オトン』(コルネイユ)

065◎『アジェジラス』(コルネイユ)

066◎『アッティラ、フン族の王』(コルネイユ)

067◎『ティットとベレニス』(コルネイユ)

068◎『ビュルケリ』(コルネイユ)

069◎『シュレナ』(コルネイユ)

070◎『アカデミー会員たちの喜劇』

(サン=テヴルモン)

071◎『ティール国とシドン国』(シェランドル)

072◎『女たちのアカデミー』(シャビュゾー)

073◎『騙された守銭奴 あるいは薬人形』(シャビュゾー)

074◎『安辻馬車の計略』(シュヴァリエ)

075◎『アグリピースの死』(シラノ・ド・ベルジュラック)

076◎『学者愚弄』(シラノ・ド・ベルジュラック)

077◎『イポリート あるいは恋がわからない若者』(ジルベール)

078◎『ディアースとアンディミオンの恋』(ジルベール)

079◎『田舎貴族』(ジレ・ド・ラ・テソスリ)

080◎『ジョドレ あるいは主人になった召使い』(スカロン)

081◎『ドン・ジャフェ・ダルメニー』(スカロン)

082◎『サラマンカの学生 あるいは寛大なる敵』(スカロン)

083◎『自分自身の番人』(スカロン)

084◎『役者たちの芝居』(スキュデリー)

085◎『勇敢な武士』(スキュデリー)

086◎『セザールの死』(スキュデリー)

087◎『変装の王子』(スキュデリー)

088◎『ディドン』(スキュデリー)

089◎『専制的な愛』(スキュデリー)

090◎『ウドクス』(スキュデリー)

091◎『タバランの笑劇2篇』(タバラン)

092◎『賭博好きの女たちの嘆き』(ダンクール)

093◎『人気の騎士』(ダンクール)

094◎『思わせぶりな女たちの夏』(ダンクール)

095◎『シュレーヌのぶどう祭』(ダンクール)

096◎『コンビエーニュの野次馬』(ダンクール)

097◎『三人の従姉妹』(ダンクール)

098◎『投機師たち』(ダンクール)

099◎『アリゾン』(ディスクレ)

100◎『名優 あるいは聖ジュネの殉教』(デフォンテーヌ)

101◎『妄想に囚われた人々』(デマレ・ド・サン=ソルラン)

102◎『シビオン』(デマレ・ド・サン=ソルラン)

103◎『ミラム』(デマレ・ド・サン=ソルラン)

104◎『クリトフォン』(デュ・リエ)

105◎『シュレーヌのぶどう祭』(デュ・リエ)

106◎『クレオメドン』(デュ・リエ)

107◎『リュクレース』(デュ・リエ)

108◎『アルシオネ』(デュ・リエ)

109◎『エステル』(デュ・リエ)

110◎『セヴォール』(デュ・リエ)

111◎『シルヴァニール あるいは生きている死者』(デュルフェ)

112◎『石像の饗宴 あるいは罪の子』(ド・ヴィリエ)

113◎『いたづら好きの妖精 あるいは見えない婦人』(ドゥーヴィル)

114◎『占星術師ジョドレ』(ドゥーヴィル)

115◎『今どきの未亡人』(ドノー・ド・ヴィゼ)

116◎『ヴェニウスとアドニス』(ドノー・ド・ヴィゼ)

117◎『バックュスとアリアースの結婚』(ドノー・ド・ヴィゼ)

118◎『マリアース』(トリスタン・レルミット)

119◎『パンテ』(トリスタン・レルミット)

120◎『セネクの死』(トリスタン・レルミット)

121◎『クリスプの死 あるいはコンスタンタン帝一族の不幸』(トリスタン・レルミット)

122◎『賢者の狂乱』(トリスタン・レルミット)

123◎『オスマン』(トリスタン・レルミット)

- ミット)
- 124◎『アマリス』(トリスタン・レルミット)
- 125◎『寄食者』(トリスタン・レルミット)
- 126◎『コキユの学校 あるいは無益な用心』(ドリモン)
- 127◎『口の利けない男』(パラブラ／ブリュエス)
- 128◎『もてる男』(バロン)
- 129◎『カルデニオの狂気』(ビシュー)
- 130◎『裏切りの女友達』(ビシュー)
- 131◎『イポリット』(ビダール)
- 132◎『プロテのアルルカン』(ファトヴィール)
- 133◎『フェードルとイポリット』(ブラドン)
- 134◎『南京錠』(ブルソー)
- 135◎『死んだふりのジョドレ』(ブレクール)
- 136◎『目覚めて見る夢』(ブロス)
- 137◎『狂人の施設院』(ベス)
- 138◎『シルセの島のユリス あるいは雷に打たれたウリロッシュ』(ボワイエ)
- 139◎『オロバスト あるいは偽のトナクサル』(ボワイエ)
- 140◎『ラ・クラース男爵』(ボワソン)
- 141◎『二人のアルカンドル』(ボワロベール)
- 142◎『バレヌ』(ボワロベール)
- 143◎『愚かな賭け あるいはパンブロック伯爵夫人の遊興』(ボワロベール)
- 144◎『美しき訴訟女』(ボワロベール)
- 145◎『真の隊長マタモール あるいは空威張りする男』(マレシャル)
- 146◎『クリゼイドとアリマン』(メレ)
- 147◎『シルヴィ』(メレ)
- 148◎『シルヴァニール あるいは生きている死者』(メレ)
- 149◎『ドソーヌ公艶聞録』(メレ)
- 150◎『ヴァルジニー』(メレ)
- 151◎『ソフォニスブ』(メレ)
- 152◎『マルカントワヌ あるいはクレオパートル』(メレ)
- 153◎『狂えるロラン』(メレ)
- 154◎『ル・バルパイエの嫉妬』(モリエール)
- 155◎『飛び医者』(モリエール)
- 156◎『粗忽者 あるいはへまのしつづけ』(モリエール)
- 157◎『恋人同士のけんか』(モリエール)
- 158◎『才女気取り』(モリエール)
- 159◎『スガナレル あるいは疑り深い亭主』(モリエール)
- 160◎『ドン・ガルシー・ド・ナヴァール あるいは嫉妬深い王子』(モリエール)
- 161◎『亭主学校』(モリエール)
- 162◎『うるさがた』(モリエール)
- 163◎『女房学校』(モリエール)
- 164◎『女房学校批判』(モリエール)
- 165◎『ヴェルサイユの即興劇』(モリエール)
- 166◎『ゴリ押し結婚』(モリエール)
- 167◎『エリード姉』(モリエール)
- 168◎『タルチュア あるいはベテラン師』(モリエール)
- 169◎『ドン・ジュアン あるいは石像の饗宴』(モリエール)
- 170◎『恋は医者』(モリエール)
- 171◎『人間嫌い あるいは怒りっぽい恋人』(モリエール)
- 172◎『いやいやながら医者にされ』(モリエール)
- 173◎『メリセルト』(モリエール)
- 174◎『田園喜劇』(モリエール)
- 175◎『シシリー人 あるいは恋は画家』(モリエール)
- 176◎『アンフィトリオン』(モリエール)
- 177◎『ジョルジュ・ダンダン あるいはやり込められた亭主』(モリエール)
- 178◎『守銭奴』(モリエール)
- 179◎『ブールソーニャック氏』(モリエール)
- 180◎『気前のよい恋人たち』(モリエール)
- 181◎『町人貴族』(モリエール)
- 182◎『プシシェ』(モリエール)
- 183◎『スカパンの悪だくみ』(モリエール)
- 184◎『デスカルバニヤス伯爵夫人』(モリエール)
- 185◎『女学者』(モリエール)
- 186◎『病は気から』(モリエール)
- 187◎『エクトール』(モンクレティアン)
- 188◎『女判事で訴訟の当事者』(モンフルリー)
- 189◎『ミトリダートの死』(ラ・カルブルネード)
- 190◎『エセックス伯爵』(ラ・カルブルネード)
- 191◎『牧人の詩』(ラカン)
- 192◎『ラ・テバイド あるいは兄弟は敵同士』(ラシーヌ)
- 193◎『アレクサンドル大王』(ラシーヌ)
- 194◎『アンドロマック』(ラシーヌ)
- 195◎『訴訟狂』(ラシーヌ)
- 196◎『ブリタニキユス』(ラシーヌ)
- 197◎『ベレニス』(ラシーヌ)
- 198◎『バジャゼ』(ラシーヌ)
- 199◎『ミトリダート』(ラシーヌ)
- 200◎『イフィジェニー』(ラシーヌ)
- 201◎『フェードル』(ラシーヌ)
- 202◎『エステル』(ラシーヌ)
- 203◎『アタリー』(ラシーヌ)
- 204◎『イポリット』(ラ・ビヌリエール)
- 205◎『マンリユス・カピトリニユス』(ラ・フォス)
- 206◎『楡の木の下でお待ちください』(ルニヤール)
- 207◎『賭博狂』(ルニヤール)
- 208◎『愛のフォーリー』(ルニヤール)
- 209◎『包括受遺者』(ルニヤール)
- 210◎『盗った人たちの策略』(レトワール)
- 211◎『ファエトンの墜落』(レルミット・ド・ソリエ)
- 212◎『癡癡症患者 あるいは恋する死者』(ロトルー)
- 213◎『忘却の指輪』(ロトルー)
- 214◎『アメリ』(ロトルー)
- 215◎『メナム兄弟』(ロトルー)
- 216◎『セリアヌス』(ロトルー)
- 217◎『セリメース』(ロトルー)
- 218◎『辛い難破』(ロトルー)
- 219◎『ドリステ』(ロトルー)
- 220◎『ディアヌ』(ロトルー)
- 221◎『逸した機会』(ロトルー)
- 222◎『辛い貞節』(ロトルー)
- 223◎『フィランドル』(ロトルー)
- 224◎『恋する巡礼女』(ロトルー)
- 225◎『死にゆくエルキュール』(ロトルー)
- 226◎『罪なき不貞』(ロトルー)
- 227◎『コルコスのアジェラン』(ロトルー)
- 228◎『クロラント』(ロトルー)
- 229◎『クリザント』(ロトルー)
- 230◎『フロリモンド』(ロトルー)
- 231◎『美しきアルフレード』(ロトルー)
- 232◎『二人のソジー』(ロトルー)
- 233◎『二人の乙女』(ロトルー)
- 234◎『アンティゴヌス』(ロトルー)
- 235◎『迫害されるロール』(ロトルー)
- 236◎『捕虜 あるいは奴隷』(ロトルー)
- 237◎『イフィジェニー』(ロトルー)
- 238◎『クラリス あるいは変わらぬ愛』(ロトルー)
- 239◎『ベリゼール』(ロトルー)
- 240◎『真説聖ジュネ』(ロトルー)
- 241◎『セリー あるいはナポリの副王』(ロトルー)
- 242◎『妹』(ロトルー)
- 243◎『ドン・ベルナルド・ド・カブレール』(ロトルー)
- 244◎『ヴァンセスラス』(ロトルー)
- 245◎『コスロエス』(ロトルー)
- 246◎『ドン・ロブ・ド・カルドーヌ』(ロトルー)
- 247◎『メデ』(ロンジュビエール)
- 248◎『テュイルリー宮殿の喜劇』(五劇作家)
- 249◎『煙突掃除人』(作者不詳)
- 250◎『隊長 あるいははら吹き兵士』(作者不詳)

事項

References 001-156

- 001◎アイスキュロス
- 002◎アカデミー・フランセーズ
- 003◎『アストレ』(オノレ・デュルブエ)
- 004◎アリストテレス
- 005◎『アルセスト』論争
- 006◎アレクサンドラン
- 007◎アントレ
- 008◎イエズス会と演劇
- 009◎医者
- 010◎イタリア人劇団
- 011◎韻文劇
- 012◎ヴァルラン・ル・コント
- 013◎英雄喜劇
- 014◎エウリピデス
- 015◎エピソード
- 016◎演劇規則
- 017◎『演劇作法』(ドービニャック)
- 018◎『演劇の擁護』(スキュデリー)
- 019◎『演劇論』(ニコル)
- 020◎オジェ
- 021◎オテル・ド・ブルゴーニュ座
- 022◎オネットム
- 023◎オペラ
- 024◎音節
- 025◎隔行対話
- 026◎歌手
- 027◎カタルシスと驚嘆
- 028◎ガルニエ
- 029◎巻頭詩
- 030◎戯曲の構成
- 031◎喜劇
- 032◎ギリシア悲劇
- 033◎グラシオーズ
- 034◎グロ＝ギヨーム
- 035◎劇中劇
- 036◎決闘
- 037◎結末部
- 038◎ゲネゴー座
- 039◎術学者
- 040◎コキユ
- 041◎ゴーチーエ＝ガールギーユ
- 042◎コメディ＝パレエ
- 043◎コメディ＝フランセーズ
- 044◎コロス
- 045◎コンメディア・デッラルテ
- 046◎『三劇詩論』(コルネイユ)
- 047◎残酷劇
- 048◎三単一の規則
- 049◎散文劇
- 050◎『詩学』(アリストテレス)
- 051◎仕掛け芝居
- 052◎侍女
- 053◎『詩法』(ボワロー)
- 054◎爵位
- 055◎シャブラン
- 056◎シャルパンティエ
- 057◎シャンメレ嬢
- 058◎ジャンル
- 059◎宗教劇
- 060◎掌球場
- 061◎笑劇
- 062◎笑劇三人組
- 063◎情念の台詞
- 064◎照明
- 065◎ジョドレ
- 066◎『詩論』(ラ・メナルディエール)
- 067◎新旧論争
- 068◎真実らしさ
- 069◎スカラムーシュ
- 070◎筋立て喜劇
- 071◎スタンス
- 072◎スペイン・コメディア
- 073◎性格喜劇

- | | | |
|-----------------|--------------------------|------------------|
| 074◎性格と風俗 | 102◎バルザック | 129◎マウロの『覚書』 |
| 075◎セネカ | 103◎バルフェ兄弟 | 130◎幕 |
| 076◎台詞や場面の種類 | 104◎パレ・ア・ヴォロンテ | 131◎幕(舞台幕) |
| 077◎ソポクレス | 105◎パレニロワイヤル | 132◎幕間劇 |
| 078◎タルマン・デ・レオー | 106◎バンスラード | 133◎マザラン |
| 079◎地方巡業 | 107◎ピアノセアンス | 134◎マリヴォー |
| 080◎つなぎの場面 | 108◎悲喜劇 | 135◎マレー座 |
| 081◎ディヴェルティスマン | 109◎悲劇 | 136◎マレルブ |
| 082◎デウス・エクス・マキナ | 110◎ビュルレスク | 137◎マントノン夫人 |
| 083◎デュ・バルク嬢 | 111◎風俗喜劇 | 138◎召使い |
| 084◎デュフレニー | 112◎『フェードル』陰謀事件 | 139◎モリエール劇団 |
| 085◎テュルリュパン | 113◎腹心 | 140◎モロー |
| 086◎テレンティウス | 114◎フーケ | 141◎モンドリー |
| 087◎田園劇 | 115◎舞台装置 | 142◎モンフルリー |
| 088◎討議の場面 | 116◎プティ＝ブルボン(劇場) | 143◎山場(もつれ) |
| 089◎導入部 | 117◎ブラウトゥス | 144◎誘拐 |
| 090◎ト書き | 118◎『フランス演劇』(シャビュソ
ー) | 145◎ラ・グランジュの『帳簿』 |
| 091◎独白 | 119◎プレシュール／プレシューズ | 146◎ラ・フォンテーヌ |
| 092◎ドービニャック | 120◎フロリドール | 147◎ラ・メナルディエール |
| 093◎取り違え | 121◎ベルローズ | 148◎リシュリユー |
| 094◎トルコ趣味 | 122◎ペロー | 149◎リベルタン |
| 095◎どんでん返し | 123◎変装 | 150◎リュリ |
| 096◎長台詞 | 124◎傍白 | 151◎ルイ14世 |
| 097◎ニコル | 125◎ボシュエ | 152◎『ル・シッド』論争 |
| 098◎『女房学校』論争 | 126◎ホラティウス | 153◎レシ |
| 099◎認知 | 127◎ポール＝ロワイヤル | 154◎レトリック(修辞学) |
| 100◎場 | 128◎ボワロー | 155◎ロマネスク |
| 101◎場のつなぎ | | 156◎ローマ物 |

コラム

Prolongements 01-36

- | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 01◎日本におけるフランス17世紀
演劇の受容 | 10◎バスカルと演劇 | 24◎コメディ＝フランセーズのレバ
ートリー |
| 02◎『ル・シッド』とトランプ | 11◎マスカリールか、マスカリーユか | 25◎イタリア演劇とフランス |
| 03◎シェイクスピアは17世紀フラ
ンスに知られていたか | 12◎プレシオジテについて | 26◎女優というメディア |
| 04◎スキュデリー兄の謎 | 13◎フィルモグラフィ | 27◎ミメーシス——模倣から表象
へ |
| 05◎サミュエル・ジョンソンの17世
紀フランス評 | 14◎食卓作法 | 28◎宮廷バレエ |
| 06◎小説の中の劇作家たち | 15◎ヴェルサイユ宮殿に便所はな
かったのか | 29◎文芸サロン |
| 07◎ピカル＝バルト論争 | 16◎ラシーヌの『フェードル』と『イ
ポリート』3作 | 30◎衣装について |
| 08◎舞台上上げられた動物たち | 17◎演技と朗唱 | 31◎興行について |
| 09◎フランスにおける近年の古典
劇名舞台 | 18◎イエズス会学校演劇の上演 | 32◎貨幣価値と物価について |
| | 19◎医学知識と演劇の狂気 | 33◎ラ・フォンテーヌと宮廷オペラ |
| | 20◎役者について | 34◎文化政策と絶対王政 |
| | 21◎世界は劇場 | 35◎ルイ14世の健啖家ぶり |
| | 22◎リュリのオーケストラ | 36◎『ル・シッド』論争に関する文
書 |
| | 23◎祝祭について | |